

白岩地区ワークショップ

地域の現状（特徴）と課題	対応策など話し合い内容	役割
人口減少		
○児童数の減少	◇学区を見直し、広域的な学区編成を行うとともに、スクールバスを充実させる。	行政
○どんどん若者がいなくなり、高齢者ばかりの家が増えている。子供が増えるような対策が必要。	◇白岩には保育所や小学校、銀行・郵便局がある。しかし買い物をする店がない。大型スーパーを誘致し、もっと若者が住みたいと思う街づくりをする。	協働
	◇紙おむつ券やミルク券の交付や、おむつを捨てるごみ袋などを出生届けの際にプレゼントをするなど出産特典を充実させる。	行政
	◇夜間・休日・救急など常時小児診療のできる施設がない。市立病院に夜間小児救急を設置してほしい。山形市まで行かなければならない。	行政
	◇学童保育の公立化・無料化	行政
	◇子ども連れで、ゆっくりと利用できるようコンビニやカフェなどを持つ図書館にしてほしい。	行政
	◇公園や空き地などを有効活用しアスレチックなど子どもたちが屋外で遊ぶ施設を作る。	協働
○晩婚や、結婚しない人が増えているが、結婚を望んでもなかなかできない人もいる。ライフスタイルの変化もあるが、仲人をする人が減ってきたことや出会いの場がないことも原因ではないか。	◇気軽に婚活に参加できる環境づくり	協働
	◇高齢者が持つノウハウやネットワークを活用して仲人システムを充実させ、婚活を進める。	協働
老人福祉センターの活用及び整備		
○施設が老朽化している	◇大規模改修や建て替えをし、高齢者から子供まですべての人が利用できる施設にする。	行政
○もっと多くの人が世代を超えて、交流できる施設にすべきではないか。	◇屋内ゲートボール場を子どもの冬期間の遊び場としてキャッチボールやサッカーなどもできるようにする。	行政
	◇これからの高齢者はゲートボールだけでなくニュースポーツを好むのではないかと思うので、ゲートボールだけでなく他のことにも利用できるようにしたほうがよい。スポーツジムのような施設があればいいのではないか。	行政
	◇高齢者が得意なことを生かせる世代間交流の場として、寺子屋のように、地域の人から手芸や絵画などを教えてもらい、子どもたちと触れ合う取り組みをする。	協働
	◇「老人福祉センター」という名称をもっと行きたくなるような名前に変えた方がよい。	行政
○高齢者の拠点として十分に機能していない。	◇老福センターを気楽に立ち寄るために、1日2回以上のバスを運行してほしい。	行政
	◇老福センターには7人の委員が全市から選ばれているが、地元白岩の同センターの利用を考える組織を作ってはどうか。	協働
公共交通機関		
○路線バスは本数が少なく、デマンドも地域が限定されるなど車がないととても不便だ。年を取っても免許証を返納したら生活できない。	◇デマンドタクシーの利用地域を拡大し、料金を統一する。	行政
	◇観光客も利用できるような福祉バスの形にしてほしい。	行政
	◇無料の交通・定期的な循環バスなどがあれば良いと思う。	行政
空き家対策		
○空き家がどんどん増えている。これからも増え続ける。	◇市外からの新規就農者へ空き家と農地を無償貸与する。Iターン・Jターンの推進につながるのではないか。	協働
	◇芸工大を卒業し、創作活動に取り組むアーティストの卵には資金面で苦勞している人がいると聞く。そういった人に空き家を開放し、たくさんのアーティストが住むような一画をつくってはどうか。	協働
	◇Iターン・Jターン者への提供、助成	協働
高齢者支援		
○一人暮らしや高齢者だけの世帯が増えている。	◇一人暮らし高齢者世帯や高齢者夫婦世帯に対し、緊急通報装置を貸与していると聞く。制度を高齢者に教えてほしい。高齢者の異常を外部へ知らせるようにしてほしい。	行政
○車の運転、食事の心配、病院や施設のことなど様々な不安を抱えている	◇互いに見守りを行う、空き家を利用した高齢者のシェアハウス	協働
○日中一人で家にいる高齢者も多く、茶飲み友達もなく孤独な人もいる。		
除雪対策		
○白岩地区は雪が多いが、小学生の通学路の除雪が十分でない。	◇小学生の通学路の安全確保のため、危険箇所の除雪を協働で行ってほしい。（協働）	協働
○空き家からの落雪も危険。		
○交通安全のためにも早い時間からの除雪を望む。		
ごみ対策		
○ゴミ袋を安く、収集日を増やして欲しい。		
防災		
○緊急避難場所に白岩小学校がなっているが、緊急時に誰が避難所の鍵を誰が開けるのか。また、住民もどのように避難するのか誰も知らない。利用体制の確認・見直しをすべきではないか。	◇豪雨などの際の緊急避難所の明確化。避難マニュアルの作成。すでにあるのであれば、周知徹底する。	協働

地域の現状（特徴）と課題	対応策など話し合い内容	役割
○防災行政無線が聞こえない地域がある。	◇防災無線の設置はとてありがたい。よりよく使うために現状を調査して、聞こえない空白地域を解消してほしい場合によっては子機の利用など ◇メール配信によるセーフティネットワークの確立	行政 行政
○山間部ばかりでなく、人家近くにも熊が出没する。早急な対策が必要である。人的被害が出てからでは遅い	◇熊の駆除は事後報告でよいようにしてほしい。住宅地の近くに熊が出た際はすぐに対応できるように手続きを簡素化してほしい	行政
○山菜取りなどで山に入る人が多く訪れるが、遭難したり、私有地へ無断で侵入し採っていく人がいる。		
交通安全対策		
○白岩バイパスはスピードを出す車が多く危険	ウインカー使用の徹底や一時停止の遵守など、自分の命は自分で守ることを推進する。	地域
○信号がなく危険な交差点（上野）や、ガードレールがなく車が転落してしまうような危険箇所を解消してほしい。		
○国道112号の国道287号下の交差点の道路標識を整備してほしい。白岩方面から行くと右折、直進、左折の3車線に分かれるが、冬場は積雪のため矢印が全く見えなくなる。	知らない人は左折車線から直進したりするので、大変危険。標識設置が必要。	行政
○交通量が少なく、夜間の信号機は点滅にした方がよい個所もある。		
道路整備		
○国道458号の整備県道白岩田代線の改良	◇道路計画と合わせて安全対策は必要。道路改良推進委員会を設置し、随時点検を行う。	協働
○新町公民館から洞興寺までの道路を拡幅してほしい（行政） ○麓地区からの国道112号への取り付け道路を拡幅してほしい（行政）	◇道路改良工事の制度交付金の継続を望む。（田代白岩線）	行政
農地等		
○耕作放棄地が増え、どんどん農地が荒れていく。	◇規模拡大の好機ととらえて、農地の集約化をすすめる。	地域
○山林資源の活用(山林の手入れ等)	◇地域の課題として委員会を設置して対策を検討 ◇林業を振興する対策を国に対し求めてほしい。 ◇ナラ枯れマツ枯れの補助対象エリアの見直しを行ってほしい（対象外エリアが常に枯れるので）。	協働 行政 行政
葉山		
○現在も葉山には多くの人々が訪問しているが、地域の振興や活性化につながっていない。この葉山の魅力を生かし、雇用を創出し、地域の人口減を食い止めることができないか。	◇旧牧中の牧場にワイルドフラワーの種をまいて、花いっぱいにする。 ◇清流実沢川の魅力をアピールしていく ◇葉山大根の美味しさをPR、芋煮会を行うなどイベントを実施し葉山高原をアピールする。 ◇葉山リゾート開発。冬はスキー場、春夏秋はモトクロスバイクやマウンテンバイクのコースとして利用。 ◇県との連携して河川の整備を行い清流実沢川の魅力をアピールしていく ◇葉山と寒河江川の自然を体験できる環境を整備する ◇ゲストハウスやファームステイなど、外国人や都会の人にもPR。	地域 協働 協働 協働 協働 協働 協働
産業		
○白岩地区にはこれといった産業がない。	◇フィルムコミッションを立ち上げ、白岩を舞台にした映画・ドラマを作る	協働
○地元産の商品をよく知らない。	◇6次産業の発掘する。テーマを決めて作物・名産品を作る。例:高原さくらんぼ(幸生・田代等のPR・スイーツ弁当など) ◇寒暖の差が大きく美味しい高原さくらんぼのブランディング。 ◇遊休農地で大豆や酒米を作り、マルタしょうゆや月山酒造から地元産原料を使って生産販売。	協働 地域 地域
○商店・飲食店の減少。跡継ぎ問題など。	○白岩の店を利用した際に受けられるようにする特典等	協働
○街作りの中心地が分らない。山形・天童方面へ出向いてしまう。観光になる何か欲しい。	○統一した建物での景観・自然を生かしたハンモックカフェなどを作ってはどうか。 ○カフェが立ち並ぶ通りを「カフェ通り」と名づけて観光地化をめざす。 ○おいしい食べ物や温泉地を生かし、食べ歩き・飲み歩きのできる場所を用意。	協働 協働 地域
その他		
白岩には他の地域とは伝統や歴史があるが、あまり知られていない。	○白岩には義民や種蒔桜、臥龍橋などがある。地域の人が歴史を学び、慈恩寺と連携し、観光資源を見える化（パンフレットやDVD作成）して、観光資源にする（地域） ○白岩出張所跡地に幟旗や、六十里街道、幸生銅山などの歴史を伝える資料館を作る。	地域 協働
白岩地区全体の活性化が必要	○白岩の祭りをひとつにまとめる ○集落を取り戻す祭り ○白岩独自のゆるキャラを作る。 ○SNS・ラジオを通して地域PR。子供の声を発信。 ○白岩全域で活動を行う地域おこし協力隊員を配置する。 ○「お互い様」の精神を大切に、「ぬくもりの里しらいわ憲章」を推進し、お互いが助け合うまちづくりを進める。	地域 地域 地域 行政 地域